4.地域の抱える課題と対応

4 - 1 . 駅・駅周辺の安全性・快適性の向上

課題1

駅舎(JR 御茶ノ水駅/東京外川新御茶ノ水駅など)、駅前広場、茗渓通りと沿道、神田川等

多くの乗降客で混雑する駅舎を改良することとあわせて、段階的に、駅前広場や交差点や歩道 の混雑の解消、バス・タクシー等の円滑な乗降のための空間創出などを進める。

あわせて、地域の回遊の拠点(ゲートコアの中心)として、神田川の景観・眺望を活かした街 並みの形成や、機能の充実を図る。

4-2.歩行者空間の充実

課題2

オープンスペース、歩行空間

これまで十分に活かされてこなかった公開空地を活用し、相互に連携する歩行空間の充実を図る。さらに、建物の機能更新などによってオープンスペース・歩行空間の創出を誘導し、ゆとりと賑わい・地域交流の場としての空間の確保・整備を進める。

4 - 3 . 駐車·駐輪対策

課題3

路上駐車・パーキングメーター、路外駐車場、路上駐輪・バイク、路上看板

駅付近に違法駐車が多く、歩道のない、あるいは狭い道路に多く存在する路上駐車などを解消するため、開発にあわせた路外駐車場の確保と利用促進、パーキングメーターの解消などを通じて、ゆとりある歩行空間を確保し、まち歩きを楽しめる街並みの形成を進める。

4-4.バリアフリー化の推進

課題 4 **パリア** フリー

バリアフリー化の推進とユニバーサルデザインの導入

バリアフリー化が遅れている公共交通機関・道路(特定経路)・建築物(教育、医療、保険、 大規模施設など)のバリアフリー化を個々に進める。さらに、その進捗にあわせて、主な回遊ル ートを始め、区域全体にバリアフリー歩行空間のネットワーク化・ユニバーサルデザインの導入 を広げる。

4 - 5 . 環境への配慮

課題 5

地球温暖化・ヒートアイランド対策

環

業務ビル・アスファルト等の人工被覆面からの熱付加、建物の廃熱が大きく、昼夜ともに気温が高い本地域では、開発・機能更新・基盤整備にあわせて、環境への負荷の低減に資する環境配慮型の建築・開発事業の推進を誘導するとともに、地域の多様な連携等によって、環境配慮型の事業活動を促す。また、あわせて緑化・保水性舗装など潤いある市街地環境の形成も図る。

4 - 6 . 防災まちづくり

課題 6

防

大規模地震災害、施設・組織・拠点の連携と協力

大手町・丸の内・有楽町、永田町・霞ヶ関等に次いで昼間人口密度が高い本地域では、建物の耐震性向上とともに、帰宅困難者への対応を含め、アーバンキャンパスコアにおける緊急・災害時の拠点形成、地域の防災活動の強化、企業の社会的責任(CSR)に基づく地域貢献など、総合的に防災対策を進める。

4-7.風格とうるおいのある街並み形成

課題7

景

みどり豊かな街路、景観資源

かえで通り、とちの木通りなど文教のまちらしい緑豊かなまちの特性を活かしながら、東西 方向や明大通り・お茶の水仲通り(キャンパスタウン軸)において、趣や落ち着きのある街並

み、街路樹など緑の連続性、ゆとりと賑わい、まち歩きを楽しませる街並みとしかけなどによって、通りごとの特性を活かしたバランスの取れた街並みを形成する。

また、十分に活かされてこなかった神田川の空間や歴史的・文化的な資源を街並み形成に活かし、点から線、面へと広げていく。

4-8.居住の推進

課題 8

多様な居住、生活の利便性

住

昼間人口に比べて、区内でも夜間人口の少ない本地域では、都心における多様な居住の推進 に資するよう、地域の特性である教育・医療機関の集積を活かした居住の推進を進める。また、 居住の推進にあわせて、多くの来街者が鉄道を利用して訪れる魅力を活かして生活利便性を高 めるサービスが提供されるよう誘導を図り、周辺市街地の居住性向上にも貢献する。

課題1

駅

駅舎(JR 御茶ノ水駅/東京外口新御茶ノ水駅など)、駅前広場、茗渓通りと沿道、神田川等

現状と問題点

駅舎及び駅前広場・・・・・

多くの乗降客で混雑する駅舎 バリアフリー化が進んでいない駅及び周辺 狭小な駅前広場、交差点や歩道の混雑 バス・タクシー乗場による歩道幅員の減少

< JR 御茶ノ水駅 >



< 御茶ノ水橋口駅前広場 >





<聖橋口>



< 聖橋口付近のタクシーの列 >



茗渓通りと沿道、神田川等・・・・・・

自動車の入り込みが多く、歩行者中心となっ ていない道路

来街者の回遊の起点としての機能の不足(地 域の情報発信・案内機能、地域の生活利便性 を向上させる機能、駅や駅周辺と一体的に賑 わいを創出する仕掛け など)

神田川(風致地区)等が意識されていない街 並み

機能更新の時期を迎えている一団の建物





<聖橋 御茶ノ水橋>





<昭和46年(旧耐震基準)以前に確認・着工された沿道の建物>



JR御茶ノ水駅に関しては、従来から、

地形的条件により、軌道・ホームの曲線が強い

ホームに一部段差がある

エレベーター・エスカレーターの設置等のバリアフリー化が進んでいない

歩行空間を含む駅前広場がない

などのため、多くの乗降客でホーム、駅前広場、交差点や歩道が混雑するなど安全性の面での問題が多く 指摘されていた。また、バス・タクシー用の空間を路上に設けざるを得ないため、円滑な乗降に支障をきた したり、乗場による歩道幅員の減少などの問題も見られる。

本構想では、こうした課題認識のもとに、交通バリアフリー法(H12.5制定)によって平成22年までに 駅のバリアフリー化を行う必要性、日本大学・明治大学のキャンパス整備などの大規模な開発動向をふま えて、駅改良及び駅周辺の整備の方向性 (整備のイメージ)を示している。

<整備の方向性>

人工地盤による上部空間の活用

JR 御茶ノ水駅及び軌道は、神田川沿いの限られたスペースに設けられており、拡幅の余地が極めて少な い。加えて、景観上・歴史上貴重な資源である聖橋や、お茶の水橋の橋脚の間を軌道が通るため、ホーム の拡幅に際しても、この部分の拡幅が困難なため大きな制約となっている。

また、有効なホーム拡幅が困難な状況を前提とすると、混雑時の安全性を確保するためには、ホームか らコンコースへできるだけ早く、円滑に移動できる動線を確保する必要がある。そのため、駅舎のバリア フリー化とともに、人工地盤を設けてホーム上部に新たな空間を設け、駅構内をゆとりをもって移動でき る環境を確保することが有効と考えられる。

聖橋、神田川への配慮

JR 御茶ノ水駅は、風致地区・都市計画緑地の区域内にあり、改良にあたっては制限を受けるが、このほ か、都心部においてうるおいある眺望をつくる神田川の河川区域(東京都の水辺再生への取組みなど)や、 聖橋の景観・歴史資源としての重要性を考慮しながら、駅改良・駅周辺整備を進めていく必要がある。

段階的な駅周辺整備

交通バリアフリー法にもとづく駅舎のバリアフリー化は、平成22年という期限が設けられており、かつ、 利用者の安全性に関わる問題であることから、緊急の対応が求められている。

また、JR御茶ノ水駅及び周辺では、神田駿河台だけでなく、周辺地域を含めた回遊の拠点(ゲートコア の中心)として、様々な機能や駅前広場などゆとりある空間の充実を図るため、周辺の開発動向の進捗に あわせて、各事業主体との連携のもと、駅舎の改良・駅周辺整備を進めることが求められる。

そのため、駅舎の改良・駅周辺整備にあたっては、まず、限られたスペースのなかで、駅及び駅周辺の 歩行者空間の充実を図る。

バス・タクシー用空間は、周辺の開発動向の進捗に合わせて確保を図るものとし、段階的に整備を進め ていく。

駅・駅周辺の整備イメージ

ステップ

駅のバリアフリー化と駅前歩行者空間の拡充



JR 御茶ノ水駅の整備

- 1)御茶ノ水駅のバリアフリー化
- 2)駅舎の改良、人工地盤の設置 聖橋口周辺の整備
- 1)ゆとりある駅前広場空間の創出 茗渓通りの歩行者優先化にあわせ、 人工地盤を活用し、駅前広場空間 (歩行者用空間)を拡充

お茶の水橋口周辺の整備

- 1)ゆとりある駅前広場空間の拡充 茗渓通りの歩行者優先化にあわせ、 人工地盤を活用し、駅前広場空間 (歩行者用空間)を拡充
- 2)お茶の水橋歩行者専用橋の整備 お茶の水橋上の歩行者の安全確保 文京区側の医療施設、東京メトロ丸 の内線利用者の利便性向上を図る

茗渓通りの整備

- 1)駅前広場と一体となった歩行者空間 の確保(駅前広場空間を補完) 自動車通行を制限し、歩行者優先 化
 - ・地域の交通計画の見直し
 - ・路線バスのルート変更
 - ・荷捌き車両、緊急車両等の処理 電線類の地中化

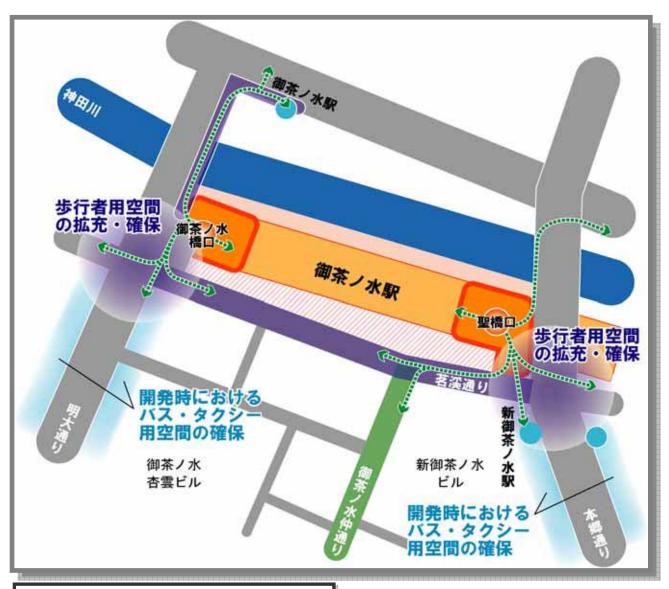
御茶ノ水仲通り歩行者空間の拡充

期待される整備効果

駅構内のバリアフリールート 改良し、スペースが広がった駅舎 駅前広場(歩行者用空間) JRと東京メトロの駅をつなぐ歩行者専 用橋 茗渓通り・お茶の水仲通りのゆとりある 歩行空間

ステップ

開発時におけるバス・タクシー用空間の確保



開発時におけるバス・タクシー用空間 の確保

開発時における交差点付近の歩行者用 空間の確保

期待される整備効果 駅付近でのバス・タクシーの円滑な乗降 交差点における歩行者の滞留の解消 茗渓通りについては、駅前歩行者空間の 拡充に向けて一体的整備の可能性を探る 歩

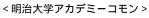
オープンスペース、歩行空間

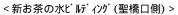
現状と問題点

通行・休憩以外に活用されていない公開空地

公開空地を結ぶ歩道の不足

<明治大学リバティタワー>







狭い歩道幅員

違法駐車・駐輪等による通行の阻害

<お茶の水橋>



< お茶の水交差点付近 >

特色のない街並み

パーキングメーターによる歩道幅員の減少





オープンスペース・歩行空間の確保・整備イメージ

ゆとりと賑わい・地域交流の場としての空間の確保・整備

機能更新にあわせたオープンスペース、歩行者空間の確保 公開空地の有効利用とネットワーク化

路上駐車の解消、電線類の地中化等による歩行者空間の拡充





部分の特性により、情報・コミュニケーション系の機能を導入する 等、溌剌とした空間、開放的空間等を演出。

地下の歩行者空間整備とともに、これらとの接続を強化。 歩行者空間の拡幅による、快適性や人の活動の幅、多様性の拡大。ま た、語らいの場、イベント開催の場等としての通りの積極的活用。 お濠の水環境をチーフとする等、特徴的な環境空間形成。 ビジネス街の格調ある街並みを形成。

建物側(賑わい、語らいを誘発する店舗、ギャラリー等の沿道立地。 設えの工夫等)と歩行者空間側との協調的環境整備。エントランス空 間のギャラリー化やピロティ、小広場等、場に応じて屋内外のヒュー マンスペースを形成。

(事例)公開性の高い空間の協調的な創出・演出

(大手町・丸の内・有楽町まちづくりガイドライン http://www.aurora.dti.ne.jp/~ppp/10_chukansoan/2_future/1a/index.htm)

駐

路上駐車・パーキングメーター、路外駐車場、路上駐輪・バイク、路上看板

現状と問題点

歩道のない、あるいは狭い道路に多い路上駐車

駅付近に多い違法駐車

パーキングメーターのキャパシティを超える路上駐車

街並みも阻害している路上駐車 (パーキングメーターも含む)



路外駐車場・・・・・・

効率的に使われていない路外駐車場

路上駐輪・バイク・看板・・・・・・・・・・・・・・・

放置禁止区域以外でも多くみられる路上駐輪 歩道上における通行を阻害する看板

<路上駐輪(自転車、小桜通り)>



< 路上駐輪(バイク) >



<路上看板(明大通り)>



駐車対策によるゆとりある歩行空間確保のイメージ

ゆとりある歩行空間の創出、良好な街並みの形成に向けた路上駐車等の解消 開発に伴う駐車場・駐輪場の整備・確保と利用の促進

路外駐車場の整備

<一般の開発・大規模な開発> 開発による需要増を 満たす駐車場・駐輪場 の整備・確保 <大規模な開発> 周辺の路上駐車の解消分の -駐車場の整備・確保 パーキングメーター 違法駐車・放置バイク

[路外駐車場の利用促進]

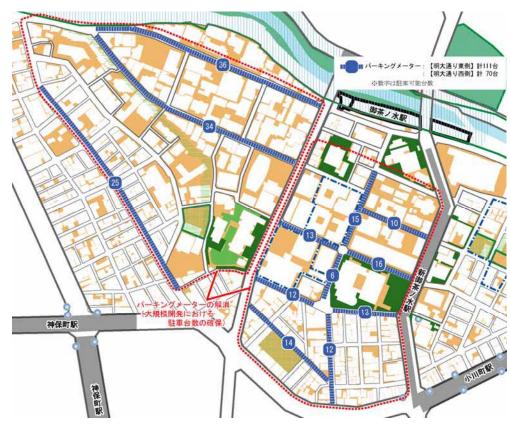
違法駐車・放置バイクの取り締まり徹底 来街者等を対象とした路外駐車場の利用効率の向上 (例えば)駐車場案内の仕組み、駐車券の発行・利用時間等に応じた料金設定、

車道内の駐車スペースを歩行空間として転換

路上駐車のないゆとりある歩行空間 文教のまちにふさわしい、まち歩きを楽しめる街並み

駐車場への商品お届けサービスの共同実施など

<パーキングメーターの解消>



月極駐車場の 一時預かり転用 駐車場の休日開放 駐車場案内・誘導 システムの導入 空き駐車場へのバイ ク・自転車の駐輪の 誘導

駐車場ネットワーク システムの導入 荷捌きに関する 新しい仕組みの導入 (H14 駐車場条例の改正) 付置義務駐車場の 地域ルール化の導入 (H14 駐車場条例の改正)

課題 4 パリア フリー

バリアフリー化の推進とユニバーサルデザインの導入

現状と問題点

バリアフリー化・・・・・・・・・・・ 鉄道施設バリアフリー化が進んでいない

歩道と沿道建物のバリアフリー化の遅れ

歩行者の利用を考えたバリアフリー施設の設置位置になっていない

まちのバリアフリー化の遅れ

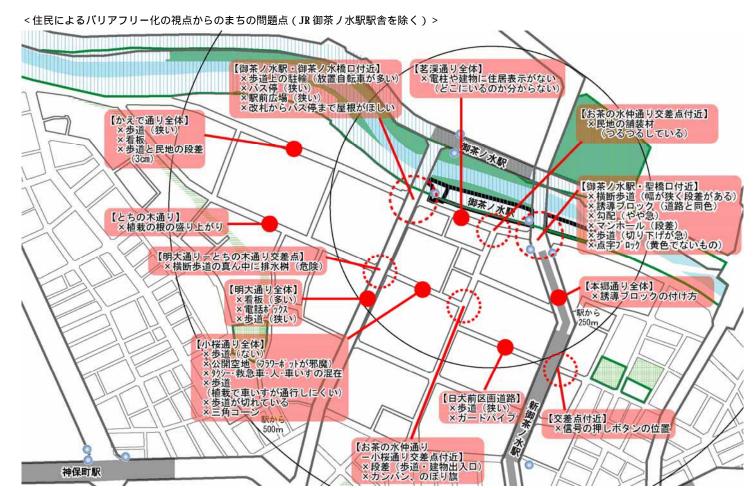
だれもがまちの回遊を楽しむうえでのユニバーサルデザインが導入されていない

< JR 御茶ノ水駅:お茶の水橋口側>





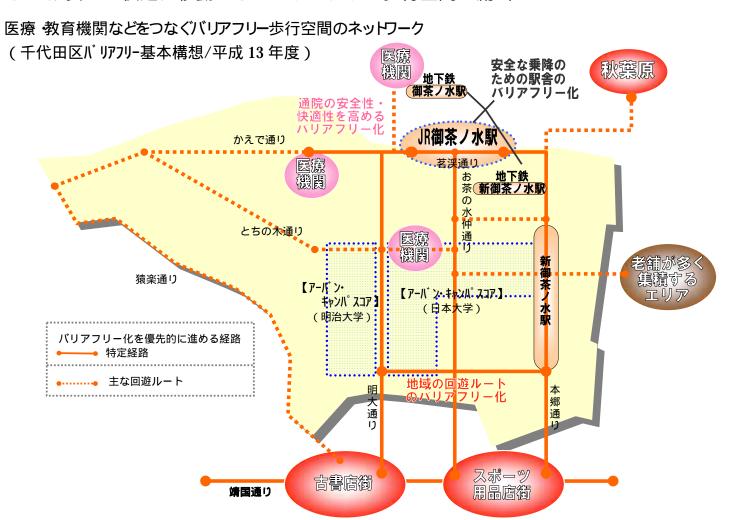




(千代田区バリアフリー歩行空間整備構想)

バリアフリー化推進とユニバーサルデザイン導入のイメージ

だれもが安全で快適に移動できるバリアフリー歩行空間の創出



バリアフリー化を進めるステップ

ステップ1

公共交通機関 鉄道駅及びバス停等)のバリアフリー化

平成 22 年までにバリアフリー化を実施(交通パリアフリー法/H12)

エレベーターやエスカレーターの設置

円滑な乗り換え経路の確保

道路等のバリアフリー化(特定経路) 平成17年度後期にお茶の水駅周辺道路のバリアフリー化を実施(コミュニティゾーン整備事業:特定経路) 歩道の設置、有効幅員の確保、歩道の段差・勾配の低減

誰でもが利用しやすい経路の確保・休憩施設の設置

建築物のバリアフリー化(教育、医療、保健、大規模施設など) ハートビル法の施行(H6制定、H15.4改正)

公共公益施設、医療・保健施設、教育施設、大規模施設などにおける積極的なバリアフリー化バリアフリー化される通路との連続性が高まるような建物のエントランス・駐車場の配置

ステップ2

区域全体のバリアフリー化・・・主な回遊ルートのバリアフリー化、区域全体のバリアフリー化

ユニバーザルデザインの導入

ユニバーサルデザイン政策大綱(H17)

公共交通機関(鉄道駅及びバス停等)・・・だれもが使いやすい券売機・トイレ等の設置 / だれもが分かり易いサインの導入 道路等(特定経路)・・・わかりやすい案内標識の整備 / 医療、教育施設や周辺のまちを利用しやすいコミュニティバスの活用 (DRT:需要応答型交通システムの導入 など)

建築物(教育、医療、保健、大規模施設など)

・・・公共公益施設、医療・保健施設、教育施設、大規模施設などにおける積極的なユニバーサルデザインの導入

・・・ユニバーサルデザインの導入を念頭においた建築物の更新

地球温暖化・ヒートアイランド対策

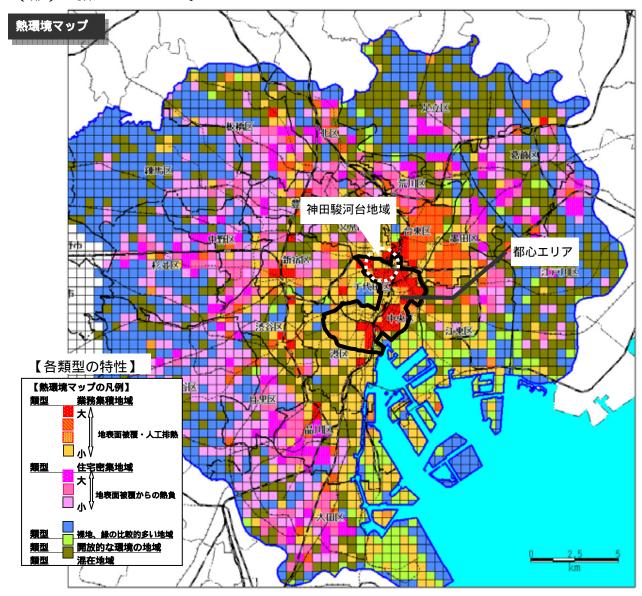
環

現状と問題点

ヒートアイランド対策をはじめとする環境改善の推進・・・・・・

業務ビル・アスファルト等の人工被覆面からの熱負荷、建物排熱が大きい 昼夜ともに気温が高い

地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域(国)、ヒートアイランド対策推進エリア (都)に指定されている。



【国】地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域

都心地域

下水等未利用エネルギーを活用した都市廃熱供 給処理システム導入、屋上等緑化、保水性舗装と 散水等官民を挙げた地球温暖化、ヒートアイラン ド対策を実施

(平成17年4月 内閣官房都市再生本部選定)

【都】熱環境マップに基づくヒートアイランド対策

都心エリア(業務集積地域対策)約1.600ha 業務ビル・スファルト等の人工被覆面からの熱負荷、 建物排熱が大きく、昼夜ともに気温が高いエリア 都市再生緊急整備地域(東京駅・有楽町駅周辺、秋葉原・神 田、環状二号線新橋周辺・赤坂・六本木、東京臨海の一部)及 び飯田橋-神保町地区、日本橋東地区等

都市再生の一環として、民間再開発等における対 策の誘導とともに、保水性舗装、壁面緑化、校庭 芝生化等を重点的に実施

(平成17年4月 東京都)

地域の環境改善への貢献イメージ

地

域の

環

境

改

開発・機能更新・基盤整備にあわせた開発事業者による地域の環境改善

環境への負荷の低減

<課題>

ヒートアイランド対策 温室効果ガス排出量削減 省エネルギー・省資源 資源リサイクル

環境配慮型の建築・開発事業の推進 エネルギー使用の合理化

- ・建築物の熱負荷低減、自然エネルギー 利用、省エネルギーシステム、地域省エネルギー 資源の適正利用
- ・エコマテリアルの活用、フロン抑制設備 の活用等、長寿命化対応、雑用水利用 環境負荷の少ない工法・機材の活用 建設副産物の発生抑制

東京都建築物環境配慮指針(平成14年) 千代田区環境に配慮したまちづくりのための指針 (平成15年)

特に大規模開発事業者が行うもの 地域向けエネルギー供給施設の活用 バイオマス・コジェネレーションシステムの導入 廃棄物処理施設等の整備

うるおいある市街地環境形成

<課題>

みどり みず アメニティ 魅力

緑化等の推進

敷地内の地上部、接道部の緑化 建築物上の緑化(屋上、壁面、ベランダ等) 水面の創出

保水性舗装による路面温度の低減 道路、駐車場、広場等での保水性舗装の活用

降雨による水害の軽減・防止 雨水流出抑制施設の設置 透水性舗装の活用

東京都における自然の保護と回復に関する条例 千代田区緑化推進要項(平成10年)

千代田区雨水流出抑制施設設置に関する指導要綱 (平成6年)

地域の多様な連携・協調・協働

神田駿河台地域の企業、教育・医療機関、自治会、商店会

環境に配慮した事業活動

環境活動を通じた企業・大学等の社会貢献

環境情報・ノウハウ・技術の共有 学生・NPO・自治会・商店会等の連携・協力

< 千代田区のヒートアイランド緩和対策メニュー> 人工被覆の改善(熱を冷ます)

〔緑地と水辺〕

- ・緑地や水辺の保全、市街地緑化、
 - 建物緑化(街路空間の緑化・屋上緑化)
- ・開水面の確保(小河川の開渠化等)

〔道路〕

- ・反射率の改善、保水性の改善、路面の散水 [施設]
- ・壁面、屋根の反射率の改善、建物緑化
- 人工排熱の低減(熱を出さない)
 - ・空調の適正運転、エネルギー消費機器の高効率化
 - ・交通対策の導入(低公害車や交通マネ・ジメント)
 - ・地下鉄排熱の利用

都市形態の改善

- 建物配置等の改善 (ビル・道路等の配置改善、風の道・水の道の利用)
- ・土地利用の改善(公園緑地の配置)

<事例 > ちよだエコ・オフィス町内会 区内の会員企業と千代田区が一緒に取り組むオフ

ィス古紙リサイクルのシステム 今まで、ごみとして捨てていた紙を分別回収 ごみにするより安いコストで資源として再利用 ごみの減量と省資源化

企業として環境や社会へ貢献



(出典:オフィス町内会ホームページ)

(出典:千代田区の緑化とヒートアイランドの現状について/平成15年度)

課題 6

防

大規模地震災害、施設・組織・拠点の連携と協力

現状と問題点

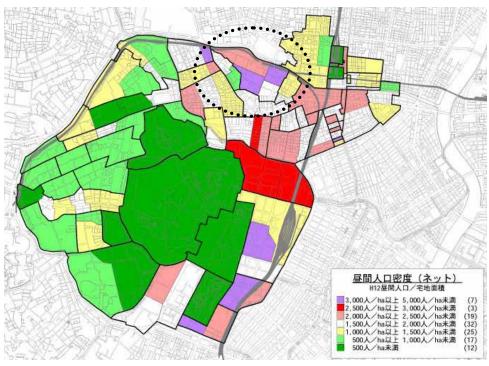
大手町・丸の内・有楽町、永田町・霞ヶ関等に次いで、昼間人口密度が高い

区の防災対策は区民と帰宅困難者が対象

企業の防災対策は大企業のみで、中小企業の防災対策の実態は不明

昭和56年(新耐震基準)以前に確認・着工された建物が多い

<町丁目別の昼間人口密度〔ネット〕(2000年国勢調査)>



緊急・災害時の拠点の形成・・・・・・・・・・・・・・・・・

神田駿河台で区と協力協定を結んでいるのは明治大学

避難場所まで距離が遠く、橋を渡る必要がある

災害時の一時避難施設の提供やオープンスペース(公開空地など)の利用について、合意が進んでいない。

< 大規模災害時の区と明治大学の協力体制 >

[協力の内容]

- 1.被災場所及び避難場所等への学生ボランティアの派遣
- 2 . 大学施設の一部の一時的避難施設としての提供
- 3 . 大学施設の収容した被災者への応急医療資材及び備蓄物資の提供
- 4. その他

(資料:大規模災害時における協力体制に関する基本協定)

防災対策と災害時の危機管理のイメージ

災害に強い市街地の形成

建築物の耐震化、適切な建物更新の誘導

- ・建物の耐震補強
- ・落下物の点検、壁面の落下防止、ガラスの飛散防止
- ・災害に強い建築物への機能更新の誘導

など

適切な避難ルート・避難場所の確保

- ・一時避難所としての確保
- ・住民に加え、就業者・来街者・通院者を含めた系統的な避難計画と避難ルートの確保

地域の防災活動の強化

地域の防災訓練への参加(平常時からの災害をテーマにした地域との交流)

地域組織・企業・大学・行政等が連携した地域防災対策の検討

企業単位・複数企業が連携した自主防災組織の設立(消火、救助、救急活動等)

防災まちづくり学習、防災スキルの習得、防災活動体験

企業の社会的責任(CSR)を果たす防災分野の地域貢献

区と企業の大規模災害時における協力体制に関する基本協定の締結

(企業の本来業務や経営資源、施設、人材などを活かした災害時の地域貢献活動)

帰宅困難者対策

- ・一時滞留場所としての公共空間・大規模建築物のスペース・設備・公開空地等の一部提供
- ・物資(備蓄、オフィス・店舗の資機材等)、マンパワーの提供
- ・企業の情報ネットワークや地域のポータルサイト等を活用した災害情報・安否情報・避難情報の収集・配信

事業所周辺の救助、救急、避難場所の運営、生活物資の配布、瓦礫処理等への人的支援 社員による災害ボランティア活動の支援

地域組織・企業・大学等と行政の相互連携

大学と地域との相互教育による防災ノウハウ・社会貢献の学習 企業同士の「隣組」の構築と防災力の共同開発 地域密着のコミュニティFM等を活用した災害情報の発信 (予備放送設備の設置、災害特別放送、安否情報等)

26

みどり豊かな街路、景観資源

暠

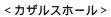
現状と問題点

みどりと街並みの風情の連続性が明大通りの東西で遮断されている

明大通り、お茶の水仲通りが地域の骨格軸としての魅力に乏しい

神田川の空間や歴史的・文化的な資源などが、街並み形成に充分活かされていない 歴史的・文化的資源の発掘・演出・PRが不足している

<神田川>



< 文化学院 >







<山の上ホテル>







電線類や路上駐車・駐輪が、街並みの遠景や、うるおいある街並みを阻害している <景観の阻害要因>

雷線類

路上駐車・駐輪







街並みのイメージ

風格とうるおいある街並みの形成 通りごとの特性を活かし、バランスのとれた街並みの創出

文教の街らしいゆとりある緑豊かな街路 (とちの木通り・かえで通り・小桜通りなど)

文教地区の趣や落ち着きあるファサードの連続 街路樹や建物側の緑の連続



【現況】小桜通り



ゆとりと賑わいの街路 (明大通り)

風格あるファサードの連続 効果的な広場空間と緑の配置



まち歩きを楽しませる街路 (お茶の水仲通り・茗渓通り)

ヒューマンスケールの街並みの創出

地上面(道路)と沿道建物との親密な空間づくり (建物上部と地上の近しい距離感(20m程度)を維持)

賑わいや交流の演出

例) カフェ、ギャラリー、ステージ、 広場などの半公共的空間の創出 地域交流活動の実施



景観資源を活かした街並み(神田川・歴史文化資源)

神田川を活かした街並みの創出 歴史的・文化的資源を活かした街並みの形成 課題 8

多様な居住、生活の利便性

現状と問題点

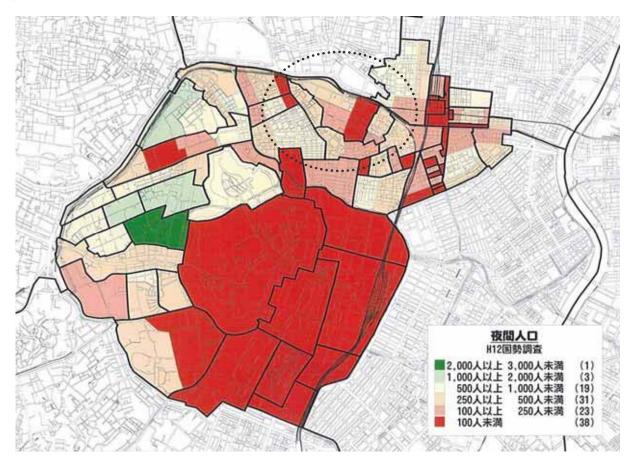
居住。

区内でも少ない夜間人口、地区外からの通勤・通学で集中する昼間人口 (昼夜間人口の差、平日と休日の差)

あまりみられない医療・大学関係者の地域内居住

就業者・学生と地域のつながりが希薄(地域で過ごす時間はわずか)

< 夜間人口 >



(出典:平成12年度国勢調查)

生活利便性,

近隣に、スーパーマーケット・生鮮品小売店が少なく、日常の買い物がやや不便 子育てや子どもが安心して過ごせる環境としては不十分

(住民の子育て、就業者や来街者の託児など)

製場・ホールなどの文化的な施設はあるが、地域での利用は少ない 就業者や来街者にとっての魅力を向上させる利便施設が不足している (現状は、飲食やコンビニエンスストア程度)

地域の居住イメージ

都心における多様な居住形態の創出

教育・医療施設の集積を活かした居住の推進

- ・医療施設等と連携した住宅の確保・誘導
- ・学生や教職員、研究者、医療従事者、地域内就業者の居住推進

居住性を高めるサービスの提供

地域環境向上への貢献

【神田駿河台地域】 多様な世帯が住める住宅整備 【学園型住宅ゾーン】 良好な居住環境に配慮した建物更新 教育・医療施設の集積を活かした居住推進 斜面や公園の緑、坂の風情を活かしたうる おいある地域環境の維持・創出 住宅系土地利用【住宅種別】 (出典: 2002 千代田区の土地利兵) 【ゲートコア】 生活の利便性を向上させる店舗 地域情報の案内 西田 海州戸旅往宅 **医蜗供用住宅** 事務所 作業所併用 一 その他の施設と併用 アパート、マンション 公寓住宅 邮与住宅、学生寮

【アーバン・キャンパスコア】

大学・医療施設の集積を活かした多様な住宅の創出

- ・ケア付き住宅、高齢者住宅、バリアフリー住宅
- ・学生や教職員、研究者、医療従事者、地域内就業者向け住宅 居住性を高めるサービスの提供
- ・生活利便、文化関連の施設の創出